

エコアクション21

企画から提案、板金加工、塗装、組み立て、検査までの
社内一貫生産がニッシンの強み



株式
会社

ニッシン

環境経営レポート

対象範囲（全ての製品及びサービス）

活動期間（2020年8月～2021年7月）

発行：2021年 8月 2日



1. 目次

1. 目次	・・・P2
2. 会社概要	
・事業所名、所在地、主要取引、事業内容、主要製品、会社沿革、etc.	P 3-P 5
・経営理念、品質方針、環境経営方針	・・・P 6
・環境経営組織と権限、環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	・・・P 7-P 8
3. 環境経営活動	
・環境経営目標	・・・P 9
・環境経営計画	・・・P10
・環境経営目標の実績	・・・P11
・環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価	・・・P12
・5 3 期の5 S活動取組について	・・・P13-P14
・5 4 期(2021 年 8 月～2022 年 7 月)からの取組	・・・P15
4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・P15
5. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・P16

2. 会社概要

Technique of Nisshin



会社概要

称号	株式会社ニッシン
設立	昭和44年5月1日
所在地	埼玉県飯能市落合500-1 TEL 042-974-1161(代) / FAX 042-974-1705
資本金	1,000万円 売上 81,191 万円
代表者氏名	手塚 文紀
社員数	56 名 (パート、研修生含む)
URL	http://www.nisshin-corp.com/
E-mail	ogawa@nisshin-corp.com n-harada@nisshin-corp.com

お問合せ先 営業部 小川、原田

取引銀行 飯能信用金庫 黒須支店
埼玉りそな銀行 飯能支店
日本政策金融公庫 さいたま支店
青梅信用金庫 飯能支店

グループ企業 株式会社エスイー
〒350-1327 埼玉県狭山市笹井3015
TEL 04-2953-2118 / FAX 04-2952-0025
<http://www.esuii.com/>



事業内容

機械設計、プログラム、精密板金加工、塗装、電装組立



主要製品

電気機器筐体及び部品、O A 機器、医療機器、ダストボックス等



主要取引先

■株式会社リコー ■リコーインダストリー株式会社
■リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
■株式会社平山製作所 ■株式会社明光商会 ■センターピア株式会社
■有限会社小林製作所 ■日立化成株式会社 ■中村電気株式会社
■日本セイフティー株式会社 ■日昭電器株式会社 ■宝永電機株式会社
■三徳商事株式会社 ■株式会社イワキ ■株式会社ニッソー冷熱製作所
■株式会社モリタ東京製作所 ■ヨシトヨ工業株式会社 ■株式会社スタック
他数十社 (順不同)



会社沿革

昭和44年5月 東京都新宿区に資本金200万円にて設立
昭和45年2月 埼玉県飯能市に本社工場移転
昭和45年6月 資本金800万円に増資
昭和54年7月 業務拡張の為、板金組付工場増設
昭和54年11月 業務拡張の為、塗装工場増設
昭和55年2月 塗装工場に新ライン設備導入
昭和59年5月 NCT(PEGA)導入
昭和60年11月 レーザーマシン(LC2-644)導入
昭和61年1月 レーザーマシン(LC2-644-II)に入れ替え
平成3年6月 塗装前処理装置、排水処理装置設置及び塗装ライン全面改良
平成7年11月 資本金1000万円に増資
平成8年4月 医療用機器製造業許可認証取得(埼玉県)
平成8年5月 医療用機器のOEM生産開始
平成9年8月 渋谷光博 代表取締役社長就任
平成12年2月 NCT(ビプロスZ358NT)及びサイクルローダー導入
平成12年10月 粉体塗装設備導入
平成16年5月 複合機(アペリオⅢ)及びマニプレーター導入
平成17年8月 前処理設備改良更新
埼玉県知事から経営革新計画(平成17年8月～平成22年7月)の承認を受ける
環境マネジメントシステム"エコアクション21"認証取得
CNCタレットパンチプレス(EM2510NT)導入
平成20年8月 渋谷光博 代表取締役社長就任
手塚文紀 代表取締役社長就任
平成21年8月 化学物質管理システム"リコーCMS"認証取得
平成24年3月 高精度ベンディングマシン(HDS-1303NT)導入
平成24年5月 品質管理システム(ISO9001:2008)認証取得
平成26年7月 YAGレーザー溶接機(YLM-500PII)導入
平成27年11月 テーブルスポット溶接機(NK-03H100-10-KG-EZ高速溶接技術システム)導入
平成28年7月 高速・高精度サーボベンディングマシン(EG-6013)導入
平成28年9月 パリ取り機(AuDeBu1000型)導入



この社内一貫生産が
ニッシンの強み!

価格低減の
ご提案や
図面の作成

板金加工

検査



株式
会社

ニッシン

塗装

組み立て

板金加工と塗装業者が別の場合、製品の移動"横もち"が発生したり、製品に関わる業者が多くなる程、管理費が増えたり、リードタイムが長くなったり、品質に対する責任の所在があいまいになりがち。

社内一貫生産が可能なニッシンであれば、責任を持って、板金塗装の品質を保証し、

お客様のご要望に見合った価格・納期をご提案致します。



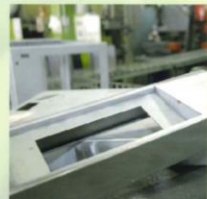
ニッシンの製品

当社は昭和44年創業以来、板金加工、塗装、組立の一貫生産を通して常にお客様に満足して頂ける商品とサービスを提供し、社会に貢献する事を考えた「ものづくり」を行ってまいりました。この間に構築された当社の技術、サービスを、時代の変化と共に更に進化させて、今後もお客様に満足して頂ける、感動して頂ける、そして人や地球にやさしい「ものづくり」を目指して全社員一丸となって頑張っております。



産業用機器のカバーの一部 (仕掛部品)

この後、製型→前処理→塗装→検査→梱包の順に作業が進みます。



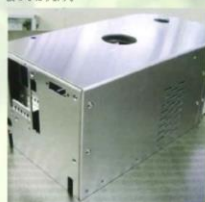
産業用機器のカバーの一部

R面もきれいに仕上げます。



産業用機器筐体

塗装がない品物(アルミ、ステンレス等)も扱っております。



歯科医療用機器

特殊な形状でもきれいに仕上げます。



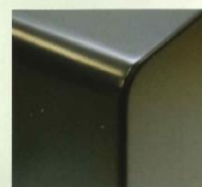
医療用殺菌キャビネット

板金加工、塗装、組立、完成まですべてニッシンで行う事が出来ます。
(医療用機器製造業許可認定取得済み)



製品のコーナー部の拡大写真

丸みのあるコーナーをこのようにきれいに仕上げ、美しい塗装を施すことが出来ます。



課金機

この製品はニッシンで筐体の制作から組立、動作確認検査、梱包、出荷までを一貫して行っております。



アクセス

〒357-0047 埼玉県熊谷市馬場500-1

■ 電車でお越しの場合

西武池袋線 熊谷駅南口より車で5分
(ご連絡を頂ければお迎えがあります)

■ お車で越しの場合

圏央道 熊谷ICより約20分
青根ICより約15分



経営理念

お客様の要望には最大限の力で応え、無駄を徹底排除した高効率体質を構築し、社会に貢献する経営を行う。

品質方針

「品質によってお客様の満足を得、品質によって社会に貢献する」を念頭に国際標準に配慮し、お客様により良い製品とサービスを提供する。
その為に下記1)～3)に重点を置き継続的改善を実施する。

- 1) お客様要求事項を満たし、加工技術の向上を図り、お客様に満足される製品を生産し、提供する。
- 2) 品質マネジメントシステムを構築し、継続的にマネジメントシステム、プロセスの改善を行う。
- 3) お客様のクレームは迅速に対応し、是正、予防処置を見直し、再発防止に努める。

環境経営方針

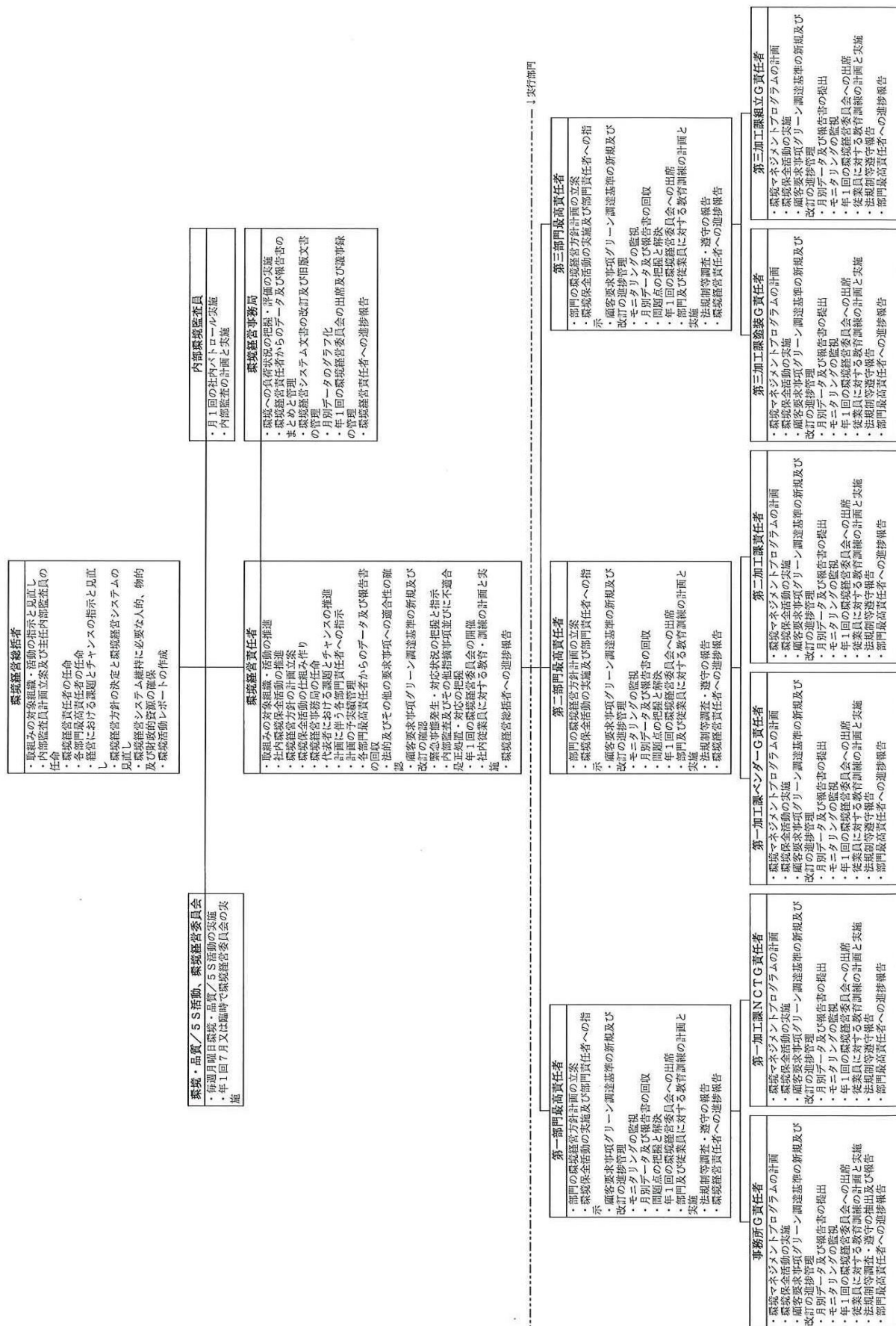
当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工、塗装、組立業務を通じて次に示す活動を優先事業活動の1つとして行います。

1. 関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2. 二酸化炭素削減・廃棄物の削減・上水の削減・グリーン購入の推進に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3. 分別の徹底、リサイクル品の積極的な採用により資源リサイクルの推進を図る。
4. 含有禁止物質及び有機溶剤の管理を徹底する。
5. 環境マネジメント活動に、“品質管理”と“5S活動”をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6. 社員一人ひとりがこの方針を理解し、スキルアップに努め、環境管理のスペシャリストになる。

2020年 8月 1日

代表取締役 手塚文紀

株式会社ニッシン環境経営組織機能図



※ 各部門責任者は1年毎に担当者が変わります。

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者（環境経営責任者）：安達 知明

E-mail：adachi@nisshin-corp.com

担当者（環境経営事務局）：梅澤 重隆

E-mail：umezawa@nisshin-corp.com

電話番号：042-974-1161

FAX 番号：042-974-1705

3. 環境経営活動

環境経営目標

51期を基準とし52期、53期、54期の3年間で中期目標は次の通り。

NO.	環境負荷項目		単位	51期基準	52期計画	53期計画	54期計画	備考
1	サ製 品 ビ ス び	含有禁止 物質	%	含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	客先要求事項 により 含有率 0%	グリーン購入としても取り上 げる 客先要求事項に対する実績数 値
2	水 入 資 源 投	上水	m ³ (金額)	2,475 (¥1,064,659)	51期金額から 目標1%減 2,450 (¥1,054,012)	51期金額から 目標2%減 2,426 (¥1,044,322)	51期金額から 目標3%減 2,401 (¥1,032,719)	
3	素二 酸 化 炭	電力	kWh (kg-CO ₂)	605,223 (226,959) CO ₂ 排 出係数 0.375	51期排出量から 目標1%減 599,170 (224,689)	51期排出量から 目標2%減 593,118 (222,420)	51期排出量から 目標3%減 587,066 (220,150)	CO ₂ 削減の為にテーマ
4	廃 棄 物 排 出	一般廃棄物	kg (金額)	1,000 (¥20,000)	51期金額から 目標1%減 990 (19,800)	51期金額から 目標2%減 980 (19,600)	51期金額から 目標3%減 970 (19,400)	
5		金属くず (異常発 生品)	kg	770	51期排出量から 目標1%減 386	51期排出量から 目標2%減 382	51期排出量から 目標3%減 378	
6	グ リ ン 入 力	事務用品	%	購入率78.4%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	51期グリーン 購入率から 購入率90%	

※1：上記の表は51期（2018/8～2019/7）52期（2019/8～2020/7）53期（2020/8～2021/7）
54期（2021/8～2022/7）

※2：有機溶剤、非常時・緊急時については管理項目として掲げる。

※3：削減目標は基準年売上比率－各使用量・排出量比率とする。

※4：目標数値は参考値の為に（ ）とする。

【全社テーマ】

- 電力消費量(CO₂)の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 一般廃棄物の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 上水の削減・・・51期金額を基準、54期末までに3%減
- 含有禁止物質の管理・・・客先要求事項による徹底管理。
- 有機溶剤の管理・・・要求事項による徹底管理。
- グリーン購入の推進・・・51期購入率を基準、54期末までに購入率90%達成

【部門テーマ】

1. 事務所G
 - 電力消費量(CO₂)の削減・・・51期排出量を基準、54期末までに3%減
2. 第一加工課NCTG、第一加工課ベンダーG、第二加工課、第三加工課塗装G、第三加工課組立G
 - 異常発生品スクラップの削減・・・51期排出量を基準、54期末までに3%減

環境経営活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計 画			担当部門 ／責任者	手順書
				52期末1%	53期末2%	54期末3%		
1	電力消費量 (CO ₂)の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. デマンド管理と照明器具等見直し 2. デマンド管理による節電実施 3. デマンド管理による節電実施				全部門	電力削減手順書 デマンド管理 (電力消費量(CO ₂)削減)
2	廃棄物の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. 廃コピー用紙の再利用の徹底 2. 購入品等の廃棄物の再利用化 3. 廃棄物運搬頻度の削減				全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	51期金額 基準 54期末3% 減	1. 水道、蛇口、トイレの節水 2. 使用メモリ対策の推進 3. 使用メモリ対策の推進				全部門	上水削減手順書
4	含有禁止物質 の管理	客先要求 事項による 徹底管理	1. レベル1 含有成分即時納入禁止 2. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止 3. レベル1, 2 含有成分即時納入禁止				全部門	含有禁止物質管理手順書
5	グリーン購入 の推進	51期購入 率基準 54期末 90%達成	1. 事務用品の現状把握 2. グリーン購入の選定と購入の推進 3. グリーン購入の選定と購入の推進				全部門	グリーン調達手順書
6	異常発生品スクラップの削減	51期排出 量基準 54期末3% 減	1. 異常発生品の低減化 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと試行と実施				第一加工課 NCTG ベンダーG 第二加工課 第三加工課 塗装G 組立G	異常発生品スクラップ削減手順書

実施試行、 維持

※ 1 : 51期 (2018年 7月～2019年 7月)、52期 (2019年 7月～2020年 7月)、53期 (2020年 7月～2021年 7月)
54期 (2021年 7月～2022年 7月)

上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

電力(CO₂)の削減 : 電力メーターの設置により、基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、又、使用していない照明器具等の撤去等を行う。

一般廃棄物の削減 : 雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

上水の削減 : 各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

含有禁止物質の削減 : 客先要求事項により含有禁止物質使用をしない。(グリーン購入の推進)

金属くず(異常発生品) : 異常発生品防止の為に作業性、スキルアップ向上を行う。

グリーン購入の推進 : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※ 有機溶剤は管理項目として掲げる。

環境経営目標の実績

51期を基準とし、52期、53期の実績は次の通りである。

NO.	売上/環境負荷項目		I：投入 O：排出	単位	51期	52期	53期	54期	備 考
1	売上		-	円	売上目標 月：71,500,000 年：858,000,000 売上実績 月：80,505,173 年：966,062,075	売上目標 月：74,500,000 年：894,000,000 売上実績 月：70,122,969 年：841,475,627 51期より 12.9%減	売上目標 月：75,000,000 年：900,000,000 売上実績 月：67,659,598 年：811,918,479 51期より 15.9%減	— —	基準期との 売上比率
2	製品及 スびサー ビ	使用禁止 物質	I	%	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 要求事項による クレームは無し	含有量0% 要求達成 —	客先要求事項に 対する実施 グリーン購入 推進項目
3	水資源 投入	上水	I	m ³ (円)	2,475 (¥1,064,959)	削減目標1% 2,450 (¥1,054,012) 目標実績 2,382 (¥1,033,741) 9.96%増	削減目標2% 2,426 (¥1,043,366) 目標実績 2,228 (¥960,211) 6.12%増	削減目標3% 2,401 (¥1,032,719) —	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
4	エネルギ ー使用 量	電力	I	kWh (円)	605,223 (¥13,299,230)	削減目標1% 599,171 (¥13,166,238) 目標実績 622,113 (¥13,263,303) 12.63%増	削減目標2% 593,118 (¥13,033,245) 目標実績 608,256 (¥11,849,526) 5.06%増	削減目標3% 587,066 (¥12,900,253) —	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
			O	kg-CO ₂ 排出係数 0.375 ※3	226,959	削減目標1% 224,689 目標実績 233,292 15.69%増	削減目標2% 222,420 目標実績 228,096 16.46%増	削減目標3% 220,150 —	各削減目標は、 51期の排出量を 基準に実施 CO ₂ 削減の為
		全エネルギー CO ₂ 排出総量	O	kg-CO ₂	568,800	548,573	534,874	—	
5	廃棄物 排出	一般廃棄物	O	kg	1,000 (¥20,000)	削減目標1% 990 (¥19,800) 目標実績 1,480 (¥29,600) 60.9%増	削減目標2% 980 (¥19,600) 目標実績 760 (¥15,200) 8.04%減	削減目標3% 970 (¥19,400) —	各削減目標は、 51期の金額を基 準に実施 金額にて比較
6		金属くず (異常発 生品)	O	kg	770 (¥16,701)	削減目標1% 762 (¥16,534) 目標実績 4,940 (¥61,558) 554.45%増	削減目標2% 755 (¥16,367) 目標実績 2,420 (¥67,847) 230.24%増	削減目標3% 747 (¥16,200) —	各削減目標は、 51期の排出量を 基準に実施 排出量にて比較
7	グリー ン購 入	事務用品	I	%	購入率 91.1%	達成目標90% 目標実績 91.3% 購入率達成	達成目標90% 目標実績 90.5% 購入率達成	達成目標90% —	各削減目標は、 51期の購入率を 基準に実施

※1：上記の表は51期（2018/8～2019/7）52期（2019/8～2020/7）53期（2020/8～2021/7）
54期（2021/8～2022/7）

※2：目標値、実績値は基準期をベースとし、売上との比率にて計算しております。

※3：排出係数は、平成22年度東京電力(株)の実排出係数を使用しています。

※4：電力以外のエネルギーは、削減策が困難な為、維持管理項目としております。

環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価

5 1 期の具体的な取組と結果とその評価については以下の通りである。

環境目標	取組項目	単位	結果(基準期との比較)				53期評価と54期からの取組内容		
			基準期 (51期)	52期	53期	54期	評価	評価に対する コメント	継続有無 取組内容
売上	—	%	基準期との比較				—	—	—
			966,062,075	841,475,627	811,918,479	—	—	—	—
			—	12.9%減	15.9%減	—	—	—	—
客先要求事項に対し 含有禁止物質の管理 の徹底を行う。 (グリーン購入)	◎客先要求事項の把握 ◎含有禁止物質の管理 ◎代替え品等の把握と対応	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	—	○	客先要求事項に対し 迅速に把握し、含有 禁止物質に対する調 査、管理等を徹底 し、かつ客先からの クレームも無い事か ら目標達成致しまし た。	継続有 同等管理 で継続
			含有禁止物質による客先クレーム状況						
				無	無	—			
上水の使用量を51期 を基準として54期末 までに3%削減する。	◎各部門こまめな節水 ◎第三加工課塗装Gの前処理に 対する吊り掛け方法の改善 (生産効率による節水)	m ³	2,475	2,382	2,228	—	×	51期に比べて53期は 売上が15.9%減に対 し6.12%増となっ た。使用量として は下がっているが、 売上との比較では増加 している。	継続有 同等管理 で継続
		金額	1,064,959	1,033,741	960,211	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
電力消費量(CO ₂)を51 期を基準として54期 末までに3%削減す る。	◎デマンド236kWhの管理 ◎各部門空調機関係のこまめな 節電 ◎各部門業務に支障が無い程度 の蛍光灯の撤去	kWh (kg-CO ₂)	605,223 (226,959)	622,113 (233,292)	608,256 (228,096)	—	×	51期に比べて53期は 売上が15.9%減に対 し、金額比較にて 5.06%増となっ てしまった。使用量と しては下がっている が、売上との比較で は増加している。	継続有 同等管理 で継続
		金額	13,299,230	13,263,303	11,849,526	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
一般廃棄物排出量を 51期を基準として54期 末までに3%削減す る。	◎各部門コピー用紙、段ボール等 リサイクルへ循環させる ◎家庭のゴミ等は持ち込まない	kg	1,000	1,480	760	—	○	51期に比べて53期は 売上が15.9%減に対 し8.04%減で目標値 達成した。リサイク ルへの意識付けを 行って活動を行う。	継続有 同等管理 で継続
		金額	20,000	29,600	15,200	—			
		売上金額との比較(基準期からの比較)							
異常発生品スクラップの 排出量を51期を基準 として54期末までに 3%削減する。	◎各グループで発生した異常発生 品についての再発防止の実施 ◎品質管理と5S活動をリンクさせ スクリューの実施	kg	770	4,940	2,420	—	×	51期に比べて53期は 売上が15.9%減に対 し230.24%増となっ てしまった。52期と比 較すると約半分と削 減されている。	継続有 同等管理 で継続
			16,701	61,558	67,847	—			
			基準期との比較						
文房具等のリサイクル材使用 製品を51期を基準 とし、54期末までに 90%達成にする。	◎文房具等のリサイクル材使用品の 現状把握 ◎リサイクル材使用品の選定と購入 個数の限定設定	%	91.1%	91.3%	90.5%	—	○	51期基準より53期は 90.5%達成出来た。 引き続きリサイクル品の選 定と購入を行う。	継続有 同等管理 で継続
			達成状況						
				達成	達成	—			

※上記の表は51期(2018/8～2019/7) 52期(2019/8～2020/7) 53期(2020/8～2021/7)

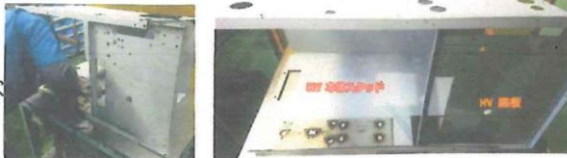
54期(2021/8～2022/7)

5 3 期の 5 S 活動取組については以下の通りである。

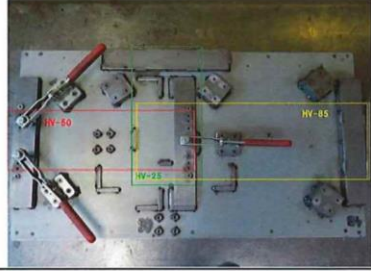
① ハイトゲージと定盤の導入（第一加工課ベンダーG）

改善前の状態（図解含） ハイトゲージがベンダーGに無く、検査まで測りに行っていた。寸法が出づらい製品に関しては寸法が出るまで往復することになり、移動によるタイムロスが大きかった。
改善後の状態（図解含） 検査から古いハイトゲージと定盤を頂き、定盤用の台を設置。アルミ板を乗せ水平をだしH a e g e r 横にべた付。ハイトゲージ保管場所を転倒防止の為、定位置化。 
効果試算 検査まで行くことなくグループ内で測定できる為、移動の手間と時間の削減となった。1 往復 4 分、50 個以上の製品を作ると仮定すると検査回数は最低 3 回。ハイトゲージを測定に使用する 1 製品に対して、12 分のタイムロスの削減となる。

② HV 本体 1 本柱（第二加工課）

改善前の状態（図解含） HV 本体のスタンドと打つ為の空間を確保する際、写真のように底板を本体に挟んだ状態で作業を行っていた。この為 打つスペースがかなり狭い故に、窮屈さを感じ接触部分で底板がズレ落ち作業が中断してしまうこともあった。 
改善後の状態（図解含） 改善後は角パイプにフックを取り付けたミニパル形に。フックは大きさとに分けられ、本体に掛けるとより固定され、ズレ落ちることも無くなった。 
効果試算 改善前と後では大きなスペースが生まれ、固定になったことで、支えを全く気にすることなく、集中力を高めることに繋がった。また、作業スペースの明るさ、持ちやすさ、本体の大きさ間わりがコレ1つコンパクトになったことで作業効率の向上にも繋がった。

③ HVフタホルダー溶接治具（第二加工課）

改善前の状態（図解含） 以前はHVフタホルダーのφ10.0のパイプを溶接するために、HV-25, 50, 85用それぞれの治具を用いていた。そのため、広い収納場所が必要だった。また、構造上パイプの固定が不安定になる場合もあった。	改善後の状態（図解含）  今回、その3種を1台の溶接治具に統合した。
効果試算 溶接治具の統合により、収納場所の省スペース化が図られた。さらに、パイプ、およびフタホルダー本体の固定方法を改め、より安定した状態で作業できるようになった。このことで、作業中に発生するパイプの傾きを減少させられ、最終段階でのひずみ取りの時間を一定量短縮できるようになった。1ロット20～50台、状況によってはそれが2～3物件連続することもあり、トータルではそれなりの時間短縮を達成できるようになった。	

④ コロコロ大作戦（改）（第二加工課）

改善前の状態（図解含） 前回の提案では、固定台にローラーを乗せて使用していました。ローラーを乗せる台が2つ必要でした。そして今回の（改）でローラーを自立式に改造しました。 	改善後の状態（図解含） 自立式にすることで台車が空き有効に使用できる。ローラーを取り付けたので、移動するのが楽になった。 
効果試算 収納場所も決め、転倒防止の鎖を装備しました。 セット時も簡単になり時間短縮になりました。 	

5 4 期(2021年8月～2022年7月)からの取組

- 電力(CO₂)の削減 : 電力メーターの基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、使用ピークの把握と各部門節電の実施
- 一般廃棄物の削減 : 雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。
- 上水の削減 : 各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。
- 金属くず(異常発生産品) : 異常発生産品防止の為に作業性、スキルアップ向上を行う。
- 含有禁止物質の削減(グリーン購入) : 客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。
- エコ商品購入の推進(グリーン購入) : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。
- ※ 有機溶剤は管理項目として掲げる。

4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規項目			遵守状況	違反、訴訟、苦情
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	○	無し
		騒音規制法	○	無し
		振動規制法	○	無し
		悪臭防止法	○	無し
	大気汚染に関する法律	フロン排出抑制法	○	無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	循環型社会形成推進基本法	○	無し
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	無し
		資源有効利用の促進に関する法律	○	無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	無し
	化学物質に関する法律	消防法	○	無し
		高圧ガス保安法	○	無し
	その他の法律	労働安全衛生法	○	無し
		粉塵障害防止規則	○	無し
	条例	埼玉県生活環境保全条例	○	無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	無し
		飯能市下水道条例	○	無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		○	無し

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟は、ありません。

また、行政等から違反等の指摘及び外部からの苦情も過去ありません。

5. 代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による評価及び見直し結果報告書

見直し案	見直し案作成日	2021年 7月30日 (金)	作成者	安達 知明
	見直し対象期間	2020年 8月 1日 ~ 2021年 6月30日		
	見直し実施時期	2021年 7月26日 (<u>定期</u>), 臨時)		
	出席者	手塚文紀、安達知明、梅澤重隆		
総括者（代表者）の評価と指示	提出資料	・エコアクション21-2017年版 ・リスク管理一覧表（2020年 8月 1日）様式第1号 ・環境経営方針（2020年 8月 1日制定） ・環境経営目標一覧表（2020年 8月 1日制定）様式第5号 ・環境経営活動計画書の実施状況（2020年 8月～2021年 7月分実績評価済）様式第6号 ・環境経営委員会（2021年 7月30日開催）様式第7号 ・環境経営目標の実績集計と達成度算出（2020年8月～2021年7月分）		
	見直し評価日	2021年 7月26日 (月)	総括者	手塚 文紀
	見直し評価結果項目	内 容		評 価
	①リスク管理	・ 中間審査指摘事項に応じた変更有り		○
	②環境経営方針	・ 今回は改訂無し		○
	③環境経営目標	・ 51期基準に対し、53期（基準期より2年目）の売上は約15.9%減であった。各テーマにおいて目標2%減に対し、以下の通り未達成となっていた。 電力・・・5.06%増 上水・・・6.12%増 異常発生品・・・230.24%増 二酸化炭素(電力)・・・16.46%増(二酸化炭素全体では9.99%増) 今回全ての項目が増加してしまった。原因は52期に設備機器が増加した関係によるものであり、特に電力は増加傾向にあった。異常発生品は51期に計測不備があり、現状230.24%となっているが、52期と53期を比較すると約半分の削減となっている。		○
	④環境経営活動計画	全ての計画に関しては活動を行っている。		○
	⑤EMS	・ 来期(54期)も、引き続きISO9001の運用を上手く利用しつつ、作業の効率化を行っていただきたい。今回の未達成についての対策、生産性向上に向けた計画をしっかりと立てて頂きたい。		○
改訂指示	⑥総括者の指示	・ 54期（2021年8月1日～2022年7月）は、引き続き仕掛在庫の低減、各部門の生産性向上、無駄な作業を無くす事を意識する。又、新型コロナウイルスによる市場の動向を把握し、売り上げ確保をする為の活動を行う。		○
	改訂内容	・ 各部門の実施手順書等の差替えがあります。		
	環境管理委員会	審 議 日	2021年 7月30日 (金)	
		審議内容	各テーマ削減達成状況と54期(2021年8月～2022年7月)の活動について	
改訂指示	環境管理委員会	審議結果	全員一致で2021年8月2日より実施する事に決定。	

注1：評価は良＝○、改善を要するが結果は良△、再検討×